

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2017年8月15日

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

大ヒット映画「クローズ ZERO」が初の舞台化！
劇団番町ボーイズ☆の本公演として11月30日（木）より上演
キャストオーディションも全国で開催！



©2007 高橋ヒロシ / 「クローズ ZERO」 製作委員会

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント（本社：東京千代田区、代表取締役：水野道訓、以下、SME）は、2007年に全国で上映され、大ヒットを記録した映画『クローズ ZERO』の上映から10年を迎える本年、SMEが主宰する個性派演劇集団「劇団番町ボーイズ☆（げきだんばんちょうぼーいずふぁいぶ）」の第10回本公演として、映画を舞台化した「劇団番町ボーイズ☆第10回本公演 舞台『クローズ ZERO』」を、2017年11月30日（水）よりCBGK シブゲキ!!にて上演することを決定しました。

さらに、上演に先駆けてキャストオーディションも実施。グランプリ受賞者は、この舞台にキャストとして出演出来ることに加えて、SMEが育成・サポートを行っていきます。「劇団番町ボーイズ☆第10回本公演 舞台『クローズ ZERO』」をきっかけに、新たな才能が発掘されることにもご注目ください。

映画『クローズ ZERO』は、高橋ヒロシ氏（高橋の“高”は、はしごだか）原作による漫画「クローズ」（秋田書店刊）を元に、完全オリジナルストーリーとして2007年に実写映画化したもの。観客動員数は約190万人・興業収入は約25億円という大ヒットを記録しました。

■高橋ヒロシ氏（漫画家・「クローズ」原作者）オフィシャルコメント
映画をぶっ壊すほどの舞台、期待しています。

脚本・演出は、劇団「山田ジャパン」を主宰し、数多くの舞台をプロデュースする傍ら、TVドラマや映画への執筆、アーティストのライブツアーやミュージックビデオの演出、ラジオ番組の構成、また映画監督も務めるなど多方面で活躍している山田能龍氏が手掛けます。

【公演概要】

〈公演名〉

劇団番町ボーイズ☆第10回本公演 舞台「クローズ ZERO」

〈劇場〉

CBGK シブゲキ!!

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 2-29-5 ザ・プライム 6階

<http://www.cbgek.jp/>

〈日程〉

2017年11月30日(木)～12月3日(日)

(全4公演予定)

※開場は開演の1時間前となります

※未就学児の入場はご遠慮願います

〈チケット〉

券種・発売日などに関しては、後日劇団番町ボーイズ☆オフィシャルサイトにて発表します。

www.banchoboys5.com/

〈脚本・演出〉

山田能龍 (山田ジャパン)

〈キャスト〉

▽劇団番町ボーイズ☆

▽劇団番町ボーイズ☆候補生

ほか

〈主催〉

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント

【キャストオーディション概要】

〈応募資格〉

12歳～26歳までの男性限定 国籍不問

特定のプロダクション・レコード会社・出版社に所属していない方に限る

※未成年の方が応募される際には、親権者の同意が必要となります。

〈応募方法〉

①WEB 応募

特設サイトの応募フォームより必要事項を記入のうえご応募ください。

②郵送応募

・必要事項を記入した所定のエントリーシート

- ・写真（バストアップ／全身）

以上2点を同封の上、下記宛先までお送りください。

※エントリーシートがプリントアウトできない場合は、便箋などに必要事項を記入したものでも構いません。

※封筒の裏面に必ず現住所と氏名を明記してください。

〒102-8353 東京都千代田区六番町4番地5

ソニー・ミュージックエンタテインメント SDグループ

「舞台『クローズ ZERO』キャストオーディション」係

<スケジュール・審査方法>

- ・応募締切：2017年9月4日（月）

※WEB応募の場合は9月4日（月）15:00まで 郵送応募の場合は9月4日（月）消印有効

- ・一次：書類審査

- ・二次：面接／自己PR・質疑応答を予定、写真・動画撮影あり

9月17日（日）：名古屋

9月18日（月・祝）：大阪

9月23日（土・祝）：札幌・福岡

9月24日（日）：東京

※応募状況により、日程が変更になる可能性があります

<結果発表>

一次審査の結果は、通過した方のみにご連絡いたします。

二次審査を含む最終結果は、2017年10月中旬までに発表の予定です。

<各賞概要>

- ・グランプリ：舞台「クローズ ZERO」への出演権およびSMEによる育成・サポート

- ・準グランプリ：SMEによる育成・サポート

※各賞とも該当者無しの場合があります。

<舞台「クローズ ZERO」キャストオーディション特設サイト>

www.sonymusic.co.jp/sd/crowszerocast/

【劇団番町ボーイズ☆(げきだんぼんちようぼーいずふぁいぶ) とは】

SMEの新人開発部門・SDグループが主宰し、2014年11月に結成した個性派演劇集団・通称「番ボ」。様々なオーディションから選抜されたメンバーは芝居を通して、新たな可能性に挑戦中。ソロとしても活躍の幅を広げている。

◇オフィシャルサイト www.banchoboys5.com/

◇オフィシャルTwitter [@bancho_boys_5](https://twitter.com/bancho_boys_5)



【映画『クローズ ZERO』とは】

累計発行部数 4,600 万部、カリスマ的人気を誇る伝説のコミック『クローズ』（高橋ヒロシ／秋田書店少年チャンピオンコミックス刊）。月刊少年チャンピオンで 1991 年から 8 年間の連載を終えてなお、ファンの熱狂はおさまるところを知らず、その続編『WORST』も絶大なる人気を誇る。漫画『クローズ』をオリジナルストーリーで実写映画化した、原作の 1 年前に起きた史上最大の抗争を描いた、いわば“エピソード ZERO”の物語。2007 年 10 月 27 日、全国東宝系で公開され、ワルくてカッコいい男たち＝悪メンブームを巻き起こし、観客動員 190 万人、興行収入 25 億円のビッグヒットを記録した。

【漫画『クローズ』（作者：高橋ヒロシ氏）とは】

1991 年より月刊少年チャンピオン誌上にて連載された、'90 年代を代表する不良漫画の金字塔。泣く子も黙る不良たちが集まる通称「カラスの学校」こと鈴蘭男子高校。そこへ金髪リーゼントの坊屋春道という男が転校してきた。次々と喧嘩自慢たちを倒していく一匹狼の出現に、学校内だけでなく近隣の悪名高き男たちが黙っているはずもなく……！？

血気盛んだが不器用で、でも憎めない魅力的な男たちによる群像劇は、当時の若者たちのハートを鷲掴みにし、「クローズ」好きを公言する有名人は数多い。

2000 年代には実写映画化、フィギュア化、アパレル展開と一連の「悪メンブーム」の火付け役となった。続編「WORST」、スピンオフ作品など関連作を含めると累計発行部数は 9,000 万部を超え、今もなお熱い支持を得ている。

【脚本・演出 山田能龍（やまだよしたつ）氏とは】

脚本家・演出家・構成作家・映画監督

劇団「山田ジャパン」主宰

1976 年 4 月 8 日生まれ、大阪府出身。

自身が代表を務め、いとうあさこ等が所属する劇団「山田ジャパン」全作品の脚本、演出を手がける。劇団、外部問わず多くの舞台をプロデュースする傍ら、TV ドラマへの執筆も精力的に行う。

近年では、アーティストのライブツアーやミュージックビデオの演出を手がけるなど活躍の場を広げ、多方面から注目を集めている。2015 年 9 月『TOKYO CITY GIRL』にて映画監督デビュー。RADWIMPS のフロントマン・野田洋次郎の主演で話題となったドラマ「100 万円の女たち」（テレビ東京/Netflix）では、チーフ脚本家として執筆している。

【お問い合わせ先】

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント 広報・CSR ルーム

<http://www.sme.co.jp/contact-list/>